

平成 28 年度 第 5 回運営委員会議事録

開催日時：平成 29 年 1 月 12 日（木）18 時半～ 20 時

開催場所：100 号館応接室 2

参加者：柳瀬会長 陣内副会長 林副会長 以下敬称略 池田 原田 重野 青木 牛島

議事録作成：牛島

【議題】

1. 今後の活動について

事務局意見→各方面の協力が得られず、今年度の当初予算からすると収入が大きく減る。また、50 周年活動で経費を使ったので残金が減っている、しかし、活動に使ったことで同窓会が浸透したとも考えられる。直接事務局を訪ねてこられる同窓生もいる。活動方向を明確にし継続し、活発にしていきたい。本部の基本路線を作り、それを元に各支部に動いてもらう。

終身会費納入者と未納入者を区別するために、納入しない卒業生には今後同窓会からの連絡をしない（新風を送付しない等）。新風は通信費が非常にかかるので来年くらいで終わりたい、今後は HP でと案内。

現時点で今後の活動内容を細部まで決めることはできないので、予算を決め、足りない部分に関しては明確な理由があれば許可という方向性で。

卒業生が新卒の就職話を持ってくるのが、同窓会の地位を上げることに繋がるのでは。既卒者の就職を含めて、地域連携・キャリアサポと協力し、お互いに協力し繋げるという話が出ている。

継続を停滞させると以前の同窓会に戻らと思うので、最低限の活動はしていきたい。稲吉産休中は事務員補充？→その時の状況で決めたい。

学生全国大会出場規程はあるが、学生支援費についての規定はない、毎年やらないといけないとは決まっていない。全国大会等への出場が決定してからの支援は今まで通りで。支援を知っているところだけしか来ない、いつ来るかわからないというデメリットがあるから、4 年位前から公募。学校から予算が出ないところを支援する意図もあった。やり方は変えても予算は必要、前期と後期の予算を決めて。現状は、学生が同窓会から貰えるものとして当初の予算自体に組み込んでしまっている。審査基準を決め、該当しなかった場合支援は無しでもいいのでは。支援が必要な場合は相談に乗るという告知はしておいて、レスポンスは遅くなるが、必要に応じて個別相談に乗るという昔の形に戻す。運営委員会会議に来てもらってプレゼン。

2. 久留米工業大学同窓会第 7 代会長選挙

スケジュールに関しては、資料の通りで承認。

選挙管理委員会の立ち上げ要。委員になってもらえる人を紹介してほしい。

事務局としては、会長になる人には運営方針を理解し、運営してほしい。

3. 名簿調査について

返信期日を明記しているならば、その日以降の分は明記している対応でいいのでは。

一言でも掲載拒否を書いているならば、すべて掲載拒否でいいのでは。

4. その他

① 2017 年切尔西フラワーショー

2 週間 期間中の授業等、学校の対応は？学生サービス担当。愛好会の継続手続き書類、学術文化会長押印待ち。書類が届いたら、提出後交渉。社会と接することなので、確実に連絡を返してくれる人を選びたい。

②大分 来年度実施の役員会

予算を大分に提示、見積もり受領。要検討。

③コマ大戦

久留米工業大学場所を来年度開催、コマと地域と一緒に実施。同窓会にも協力依頼が来ている。地元企業が参加すると、就職にも結び付けられる。大会は 131 教室、懇親会は学食を想定。

④佐賀支部会

今日決まった方針も話してくる。

⑤名簿へ掲載する支部の広告

各支部の連絡先は入れなくていいのか？→個人宅や学校なので本部に連絡をもらうようにしている。

⑥同窓会費納入状況

増額したが、辞退者数も少ないので、極端に高いと思われていないと判断できる。

卒業式に、会長とは別で同窓生の出席希望の件→止まっている。

同窓会への祝賀会援助依頼は、来ていない。